

天女の羽衣を用いたオリジナル柄スカーフの開発

天池合織株式会社 天池源受*

■技術開発の背景

弊社では、超極細糸を用いた世界一軽く薄いファッションテキスタイル「天女の羽衣」の生産・販売を手がけてきた。このテキスタイルは世界的なファッションショーにも採用されるなど、国内外から注目を集めている。今後も競争力を維持するには、製品開発力の向上と「天女の羽衣」のブランド確立が不可欠である。そのため、外部デザイナーの活用的一方で、オリジナル柄の社内開発とプリント柄の内製化を進めている。本発表では、超極薄織物にオリジナルの柄を施したスカーフの開発と今後の展開について紹介する。

■技術開発の内容

前年度、工業試験場の指導を受けて、オールドコレクション^{*1}をアイデアソースとした新規プリント柄と、「天女の羽衣」に加賀繡^{*2}を施したスカーフを開発した。

*1 1800～1900年代のヨーロッパ各地の織物や、大正・昭和初期の友禅など工業試験場と(株)繊維リソースいしかわが収集した約30000点の繊維サンプル。

*2 国指定伝統的工芸品で、絹糸や金糸、銀糸を巧みに使って立体感のある図柄が特徴。

1. 新規プリント柄の開発について

工業試験場より画像編集技術(柄のつながりや配色・回転・拡大・変形等)を指導してもらい、オールドコレクションを基にした新たな柄の開発を行った。

2. 加賀繡の適用について

石川県加賀刺繡協同組合(よしが浦工房)と代表的な刺繡柄を用い「天女の羽衣」へのテスト縫いや柄のレイアウト等を繰り返し検討し、コラボ製品を開発した。

■製品の特徴

オールドコレクションを活用して、「天女の羽衣」の透け感と高級感を損なわないよう配色や柄の大きさに配慮した新たな柄を作製し、これを用いたオリジナルスカーフを製品化することができた(図1)。また、加賀繡の高度な両面刺繡の技法を用い、「桜」「羽根」等のかろやかな柄をいかした加賀繡スカーフも生地が透けるため表裏同じ柄になるように特別に依頼し、製品化することができた(図2)。



図1 オリジナル柄スカーフ



図2 加賀繡スカーフ

■今後の展開

海外ではテキスタイル、国内では製品としてブランド化されつつありますが、メーカーブランドは継続した高い開発力が絶対的に必要であり、社内教育研究と外部協力会社とともにレベルを上げて、さらに国内外でのマーケットを攻めて参ります。

* 代表取締役社長 Email: super-organza@amaike.jp

代表者名: 代表取締役社長 天池 源受

住 所: 〒926-0037 七尾市国下町ト部59-1

TEL 0767-57-3633 FAX 0767-57-1709